

今回の更新では「定期テスト対策授業」をご紹介します！

(5) 定期テスト対策授業

県公立高校の入試において、中学校の成績である内申点の比重はかなり大きいです。中3の成績を重要視する高校がほとんどですが、中1からの成績も必ず一定の比率で得点として換算されます。つまり、県公立高校の入試は中1の1学期の学校成績から始まっているといっても過言ではありません。学校の定期テストは決しておろそかにはできないのです。

この定期テストで良い得点をとるために、スクール21川越教室では「定期テスト対策授業」を実施しております。では、どのような形式で行っているのか、具体的にご説明させていただきます。

①ワークZERO大会

定期テストの2, 3週間前の日程で、「ワークZERO大会」という、学校のワークの勉強をする時間を設けております。目的は、子供たちの「テスト勉強開始」のスイッチを入れることです。学校のワークは我々のほうでその後も追跡し、進行状況を管理します。

②対策授業

教科書の内容に従った授業を行い、定期テストに備えます。この期間は、定期テストの2週間ほど前からスタートし、その間、塾の通常授業は一旦ストップします。子供たちには、完全に定期テストの勉強に専念してもらうためです。

③ワーク面談

試験範囲の学校のワークを終わらせていないようでは高得点は見込めません。そこで、定期テストの数日前に、各生徒毎にワークの終了状況を個別形式の面談でチェックします。この際、単に答えを丸写ししているとか、○付けをそもそもしていないなど、さまざまな問題が見つかることもあります。それらを逐一チェックし、場合によっては対策授業のない曜日に塾に来ていただいて、しっかりと試験範囲のワークを勉強させるということも行っております。

これらの様々な方法で、しっかりとお子様の定期テストをフォローさせて頂いております。皆さん、是非スクール21川越教室の仕組みを利用して、自己ベストの得点を狙ってみましょう！